



内閣府（防災担当）

大規模噴火時の広域降灰対策検討 ワーキンググループ（第3回） 議事要旨

1. 日 時

平成31年3月22日（金）10:00～12:00

2. 出席者

藤井主査、石原委員、伊藤委員、大野委員、郡山委員、重川委員、関谷委員、多々納委員、
田中委員、永田委員、秦委員、萬年委員、山崎委員
山本 防災担当大臣 他

3. 議 題

- (1) 降灰による影響の想定のお考え方(案)について
- (2) 降灰による影響の想定に用いる降灰分布について
- (3) 今後の検討項目(案)について

4. 議事要旨

○ 各委員から、以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。

- 上水道への影響は、需要の増加や、水質の基準超過による運用も考慮して整理することが必要。
- 除灰作業に使われる資機材の除灰速度は、過去の除灰事例等により、現実的な除灰可能な量を整理することが必要。
- 健康へ影響を与える降灰の期間の長さの程度を示すことも重要。
- 火山災害における社会的な影響と、地震や風水害等の他災害における影響とが異なる事柄について、理解を促すことが必要。
- 噴火警報や降灰予報など、発表される情報も考慮して対策を検討することが必要。
- 降灰後の土石流による影響の可能性についての記載も必要。
- 停電等社会的影響の大きい事態が生じることを前提に、想定や対策を考えることも必要。

以上